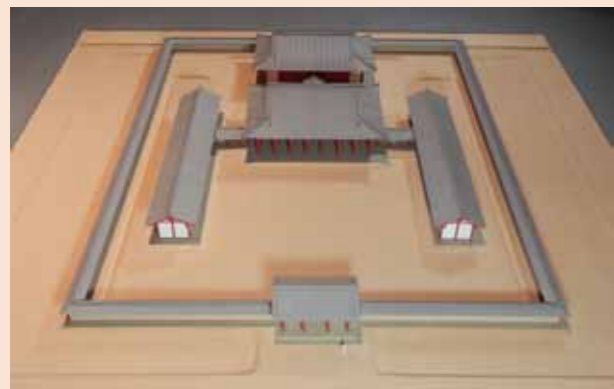


# ??伊勢国府跡の謎??



政庁模型

## 政庁の謎??

調査の結果から政庁の建物群は未完成だったことがわかりました。屋根に瓦を葺き、柱の丹塗りの工程まで作業が進んでいたようですが、仕上げの基壇化粧をしていません。あと少しの作業が何故できなかったのでしょうか。完成しなかった政庁は、現在、「国府」の名が残る国府町へ移転したと考えられています。何故、立派な政庁を建てようとしながら、完成させずに移転してしまったのでしょうか？

## 文字の意味するものは??

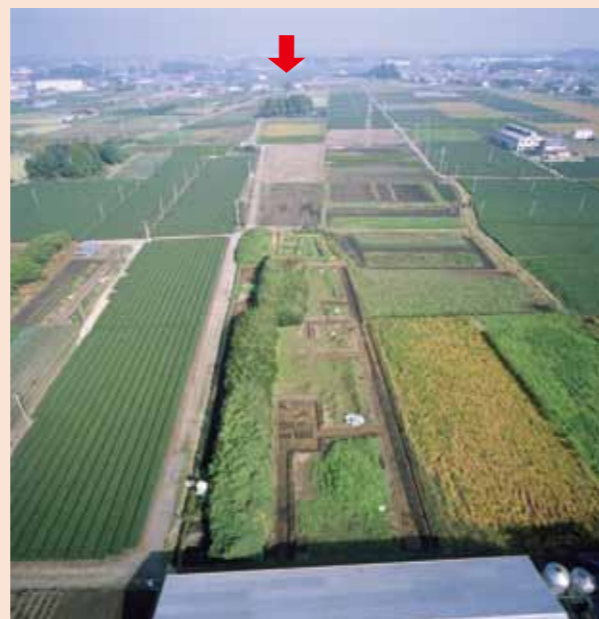
出土する瓦には、人・上・宿などの文字が刻まれたスタンプが押されています。郡名や郷名と思われるものもありますが、その文字が意味するものは謎です。



伊勢国府跡の調査はこれからも続きます。謎の追求とともに、貴重な遺跡を大切にしていきたいと思ひます。

## かねやぶ 金藪は何??

遺跡の北部には金藪と呼ばれる森があり、政庁のほぼ真北にあたります。この地の長者が財宝を埋め、もし広瀬村でお金に困るようなことがあったら、この下を掘れといひ残したと伝えられ、これが長者屋敷遺跡の名の由来となっています。森の中に現在も残る2mほどの高まりは古墳ではないかという説もありますが、金藪の東西には大溝が掘られ、南には政庁と金藪を結ぶような北方官衙の南北大路があることから、国府に関連する施設ではないかとも考えられています。この高まりはいったい何なんのでしょうか？



南北大路から金藪を望む



©Tezuka Productions

# しせき 史跡 いせこくふあと 伊勢国府跡

三重県鈴鹿市長者屋敷遺跡の発掘調査



## 伊勢国府跡

国府とは、古代の60余りに分かれていた国ごとに置かれた役所のことです。鈴鹿市では、平成4(1992)年から広瀬町・西富田町の長者屋敷遺跡の調査を開始しました。その結果、奈良時代の伊勢国府跡であることがわかりました。今回、伊勢国府跡の**すごい**ところを紹介します。



鈴鹿市考古博物館  
Suzuka Municipal Museum of Archaeology

〒513-0013 三重県鈴鹿市国分町224 TEL059-374-1994 FAX059-374-0986  
E-mail: kokohakubutsukan@city.suzuka.lg.jp URL: http://www.edu.city.suzuka.mie.jp/museum/

# 伊勢国府跡のここがすごい！！



現在の正殿の様子



## せいちょう 政庁のここがすごい！！

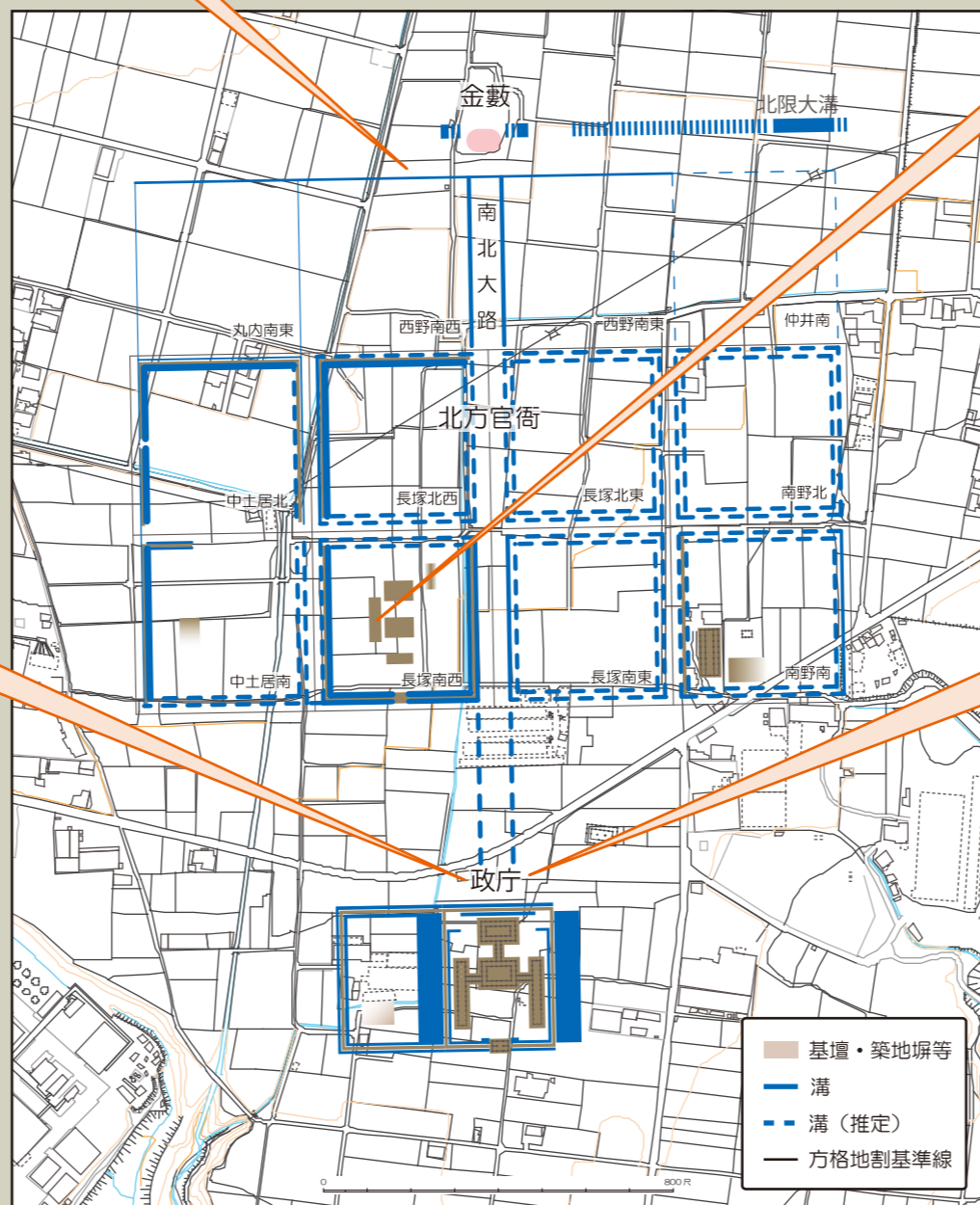
政庁は国府の中でも最も重要な施設で、国司を中心にした儀式と宴会などが行われていました。政庁の主要建物は格式の高い瓦葺礎石建物で、正殿・後殿の基壇は、現在でも森の中に1mほどの高まりとして残っています。後殿の調査では基壇上に礎石を据えるための根石や平瓦を使った建物の土台が確認され、ほとんど当時の高さであることがわかりました。全国的にみても、これほど残りのよい政庁跡はありません！



後殿の発掘調査

## ほっぽうかんが 北方官衙のここがすごい！！

政庁の北では碁盤の目状の区画とそこに整然と並ぶ建物群を確認しました。都から派遣されてきた国司の宿舎や実務の場など国府に関連する施設群と思われます。平城京の条坊にも類似した区画がともなう国府は、陸奥国府でもある多賀城跡が知られるくらいです。



## とうかいがわら 倒壊瓦のここがすごい！！

大溝から屋根に葺かれていた状態を残して大量の瓦が出土しました。このような出土状況は珍しく、しかもこの瓦は出土地点の東にある建物に葺かれていたもので、台風などの自然災害によって、10m以上飛ばされたものと考えられます。



倒壊瓦の出土状況

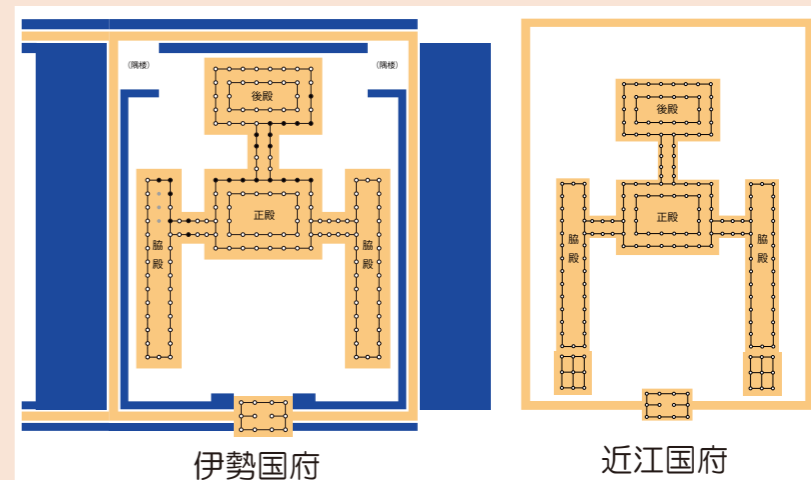


©Tezuka Productions

## もうひとつ政庁のここがすごい！！

全国に60余りある国府の政庁の建物配置には地域的に共通性は見られるものの、まったく同じというわけではありません。そのような中で、伊勢国府と近江国府は全く同じ建物配置であることがわかりました。

ただ、建物の規模は同じではなく、伊勢国のほうが大きいです！



伊勢国府

近江国府



重圏文軒丸瓦



重廓文軒平瓦



## 出土瓦のここがすごい！！

出土遺物の多くは瓦です。軒先を飾る瓦の文様は聖武天皇に縁のあるものです。主に使われたのはシンプルな文様である重圏文軒丸瓦と重廓文軒平瓦です。そのほかに政庁では奈良の都・平城京から伊勢国まで運ばれてきた型で作られた唐草文軒平瓦も出土しています。



唐草文軒平瓦